

## RF タグの実演展示に関して

### [1] 会場内での電波使用について

2. 4GHz 帯及び 920MHz 帯の RFID 実演展示には、関東総合通信局への構内無線局免許申請（移動申請）が必要となります。必ず各社にて申請し、開催期間までに取得してください。

### [2] UHF 帯 RFID 製品の実演展示について

#### ◆チャンネルのアサインに関する概要

本年の自動認識総合展では、920MHz 帯の電波帯域での実演となります。

チャンネルのアサインに関しては、出展各社様の実演電波帯域、機種、実演台数を全て調査の上、確定させていただきます。

調査機種は以下の通りです。

1. アクティブタグ
2. パッシブタグ(特定小電力無線局)
3. パッシブタグ(構内無線局、登録局)
4. パッシブタグ(構内無線局、免許局)
5. パッシブタグ(簡易無線局)

※ 2018 年 4 月 1 日以降、950MHz 帯 RFID の全てが使用不可となっております。

※ 各社指定チャンネルでのみ電波送信になるよう設定をお願いいたします。指定チャンネル以外での電波送信は、禁止とさせていただきます。また、機器の電源 ON/OFF により、設定が変わり 2 日目の展示で、指定チャンネルの設定が初期化され、干渉に影響するケースも報告されております。こちらに関しても事前にご確認をお願いいたします。

#### ◆干渉の発生予想に関して

出展機材数が多量のため、一つのチャンネルに複数台の RFID 機材をアサインすることになりますので、強い相互干渉が発生することが予想されます。下記に示す干渉防止対策を検討し、実行して下さい。

- ・ 送信時間を極力短くして下さい。
- ・ 送信電力を極力小さくして下さい。
- ・ 電波吸収体等により各自の機材を保護すると共に、極力不要電波を出さないで下さい。
- ・ アンテナの設置方向に関しては、指定された方向のみとして下さい。
- ・ MS方式のデータ用チャンネルへの送信は、いかなる場合においても禁止いたします。

#### ◆今後のスケジュール

事前に出展各企業様の実演状況をお伺いいたしましたが、展示会会期中に UHF 帯 RFID の展示実演をする出展社様は、R/W の台数を確定の上、巻末の提出書類「UHF 帯 RFID 実演展示申請書」により、実演の申請をしてください。

※ただし、事前申請（出展申込書）の段階で実演を予定していない企業様は申請できません。

2023 年 8 月 10 日(木)	提出書類期限	必ず期日までに提出してください
2023 年 8 月下旬	各社使用 CH の通知	出展ご担当者様宛にメールにて各社の CH 振分けの資料をご連絡いたします。
2023 年 9 月 12 日(火) 午後	UHF 帯 RFID 実演企業より干渉の報告が多く上がった場合は、実演調整会もしくは、チャンネルの再アサインを行います。 強い干渉があった場合は、現地事務局にお越しください。	

※なお、上記提出書類のご提出がない場合、UHF 帯 RFID 製品の実演展示はできません。

◆免許局は、関東総合通信局への移動申請が必要となります。必ず移動申請を行った上で、実演して下さい。

◆国内法に準拠した機器及び運用免許取得済みの機器を使用してください。

◆他社ブースに著しく影響を及ぼしている場合などは実演を制限、あるいは中止していただく場合もあります。